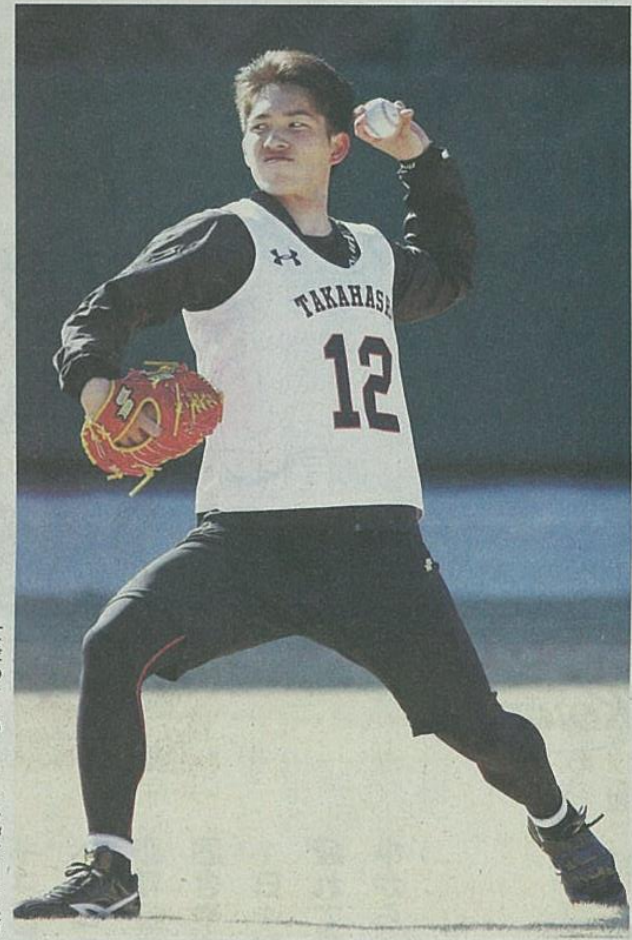


新人合同自主トシで投球練習をする巨人・高橋川崎市のジャイアンツ球場



新人G高橋始動

「自覚と責任持つ」

巨人の新人合同練習が9日、川崎市のジャイアンツ球場で始まり、体調不良の2選手を除き、育成選手を含む8人が参加した。原辰徳監督ら首脳陣が見守る中、ランニングやダッシュなどで体を動かした。ドラフト1位の高橋優貴投手(八戸学院大)は「いつも以上に緊張したが、いい練習ができた」と充実感をにじませた。

練習前には原監督が「コンディションをつくるということが大事。野球選手になったからには、野球博士になろう。平等に時間は与えられている」と訓示。高

橋は「巨人の一員になるため、自覚と責任を持って頑

張っていく」と気を引き締めた。

2位の増田陸内野手(茨城・明秀学園日立高)、育成3位の沼田翔平投手(北海道・旭川大高)は不参加だった。